

## 指定管理者評価シート

### 一 管理運営の状況

|   |         |   |
|---|---------|---|
| 1 | 施設名     | 仙台市将監児童館  |
| 2 | 指定管理者   | 公益財団法人仙台ひと・まち交流財団   |
| 3 | 指定期間    | 平成28年4月1日から平成33年3月31日まで   |
| 4 | 施設の利用状況 | <p>《利用者数》 25,709人 (前年度比 108.7%)<br/>         平成28年度 23,649人<br/>         平成27年度 20,913人<br/>         平成26年度 18,509人</p> <p>《事業》<br/>         児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業</p>  |
| 5 | 収支の状況   | <p>《費用》 ( )は前年度決算額</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指定管理者に支払った費用 29,133千円 ( 23,160千円)</li> <li>・ その他市が負担した費用 0千円 ( 0千円)</li> </ul> <p>《収入》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 使用料収入 0千円 ( 0千円)</li> <li>・ その他収入 0千円 ( 0千円)</li> </ul> |
| 6 | 利用者の声   | 《実施状況》<br>利用者アンケート、児童館運営委員会、児童クラブ保護者懇談会を実施。   |

### 二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

| 評価分野           | 所見   | 評価 |
|----------------|--|----|
| I 総則           | 児童館の設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、管理運営団体が作成した「オリエンテーションブック」を用いて職員への共通理解を図るとともに、館内掲示、ホームページ等で利用者にも周知している。また、地域の特性を生かした各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。                              | S  |
| II 施設の運営管理体制   | 職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報保護等について適切な運営管理体制が構築されている。また、施設内外の日常点検及び定期点検、マニュアル等の整備、毎月の避難訓練の実施等、安全に留意した運営に取り組んでいる。   | S  |
| III 施設・設備の維持管理 | 日常的・定期的な保守点検や清掃により、建物、設備、外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取組みが実施されており、安全で快適な環境が保たれている。  | S  |
| IV サービスの質の向上   | 名札の着用、館内掲示による職員紹介、児童館だよりの発行やホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに取り組んでいる。また、各種研修への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等を通して利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。 | S  |
| V 施設固有の基準      | 近隣児童館3館で連携した出前児童館を実施し地域全体の子育て支援に取り組んでいる。子育て支援クラブや人形劇サークルの活動を支援し、保育園や老人憩いの家等との連携、併設の児童発達支援センターとの利用者交流、土曜日の親子行事などを通して様々な交流の場を設けているほか、地域の自然を生かした行事を行っている。             | S  |

### 三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

| 評価すべき取組み |  | 取組み状況 |
|----------|--|-------|
| 1        |  |       |
| 2        |  |       |
| 3        |  |       |
| 加点評価     |  | —     |

### 四 評価総括

| 《指定管理者（公益財団法人仙台ひと・まち交流財団）による自己評価》   |
|---|
| <p>「地域に開かれ、新しい発見や感動・人々とのつながりを大切にする児童館」を重点目標に掲げて事業を進めてきました。地域の特徴としては、地域全体が少子高齢化している中で、乳幼児、小中学生の多くが児童館から一キロ離れた新興の「将監殿」地区に集中していることがあげられます。その特徴にどう対応するかを課題に運営を行いました。【子育て支援】将監地域全体を視野に入れて、将監児童センター、将監西児童館と共に、三館が連携して事業を行いました。幼児クラブ実施日を重ならないように調整して、一つの児童館が利用者を囲い込まず、利用者の利便を図りました。「将監殿」の乳幼児親子のために、「出張にここ」を年8回実施し、隣接した「コスモス将監保育園」や「サンホーム」とも連携して行事を行いました。【地域交流の推進】市民センター祭りでは、小学生ボランティアがコーナーを受け持ち、レクダンスクラブが発表し、児童クラブのメンバーが地域の方々と交流しました。レクダンスクラブは、その存在が地域に浸透し、多くの発表の場が生まれて、地域と児童館をつなぐ重要な役割を果たしています。また、地域の高齢者の指導で、グランドゴルフ大会を開催し、地域住民と活動を共にしました。【児童健全育成事業】既設の「レクダンスクラブ」に加えて、小学生の「いもクラブ」を新たに設置しました。苗の植え付けから収穫までの栽培活動に加えて、サツマイモを使ったお菓子づくり、蔓を使ったリース作りなど、シンボルツリー「柿」を中心とした行事に新しい展開が生まれました。【子育て支援事業】子育て支援クラブ「キラキラ」、人形劇サークルなど、本館を活動の拠点としている団体の活動が活発であり、共催行事も定員を超える盛況です。児童館としても連携して様々な試みを行い、これからも地域の特性を生かした運営に努めてまいります。</p> |

| 《施設設置者（仙台市）による評価》   | 総合評価 |
|---|------|
| <p>乳幼児期の子育て家庭支援の取組みとしては、登録制幼児クラブのほか、保護者交流のティータイムや、遊びの場、保護者のリフレッシュ行事等を自由参加の形で月1～4回の頻度で実施し、いつでも気軽に来館できる環境作りを行っている。児童館だよりの発行においては、分かりやすい記事の作成を心がけるなど、事業の充実が図られており評価できる。</p> <p>小学生を対象に、子育て支援クラブと共催の「おこづかいゲーム」や区家庭健康課・市民センター共催の調理活動を行っているほか、工作、スポーツ、自然体験など多様な遊び・体験の場を通して子どもの育ちを支援している。レクダンスクラブは継続した取組みとして活動の場が地域に広がっている。夏休みに小学生が乳幼児親子を対象にイベントを開催し、お店の担当や人形劇を行うほか、年度末に子どもの特技発表の場を用意するなど、子どもが主体的に企画運営に関わることができる活動に取り組んでおり評価できる。</p> | S    |

◎ 評価担当課（施設所管課） 子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進室